

実施校 上越市立三郷小学校

学年・人数：4年生・6名

実施日：令和6年9月19日（木）

～川の防災について～ 三郷小学校4年生が関川の防災について学びました！

● 実施概要

日 時：令和6年9月19日（木） 9:20～10:05

場 所：三郷小学校 教室

参加者：三郷小学校4年生 6名

内 容：1. 室内講座～プレゼンテーション資料を用いた関川の学習～

- ①川のことば（源流・河口、本川・支川・流域、左岸・右岸、堤防・護岸など）
- ②関川ってどんな川（源流と河口、川の長さ、勾配、流域について）
- ③過去の水害（7.11水害など）
- ④治水の方法（河川整備・これからの治水について）
- ⑤水害に備えて（マイ・タイムラインの考え方、洪水ハザードマップの活用、浸水したら危険になる箇所）

2. 質問タイム

● 講座の様子



- ・過去の水害（平成7年 7.11水害、昭和57年9月洪水など）の様子や被害を減らすためどんな対策を進めてきたのかを学びました。（川幅の拡幅や矢代川付替えなど）
- ・近年は気候変動により大雨の頻度が増え、洪水の規模も大きくなっていることから流域のみんなで「流域治水」に取り組んでいることも学びました。



- ・三郷小学校付近の洪水ハザードマップをみんなで確認し、自分の家にどんな危険があるのか確認しました。



- ・三郷小学校付近の地形の特徴として、関川や支川の別所川の両岸には河岸段丘が発達しています。
- ・洪水に対して割と安全な河岸段丘の上の高いところに集落（家や学校など）があり、下の低いところは水田に利用されていることを学びました。

〔児童のみなさんからの質問と回答〕

Q1：洪水のとき、だれがどのように動いて、私たちを守ってくれるの？

A1：天気予報や今後どれくらい雨が降るのかを予測する气象台の方、河川の水位状況や川の様子を確認し、その情報を提供する河川管理者（国土交通省、新潟県）、その情報を基に避難情報を発令する上越市役所、避難情報をもとに町内の皆さんに避難を呼びかける町内会役員や消防団の方々、避難情報を皆さんに伝える報道関係者などたくさんの方が働いています。
しかし最後に自分の命を守るのは自分自身です。避難情報が出されたら早めに避難しましょう。